

世界水準のナショナルパークを目指す

伊勢志摩国立公園 夏の便り



令和7年7月

Vol.15

発行／(一財)伊勢志摩国立公園協会、三重県 編集協力／(株)アイブレン

伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業
美しい風景を次世代へ

伊勢志摩国立公園は、昭和21年に戦後初の指定を受けて以来、2026(令和8)年11月20日に指定80周年という大きな節目を迎えます。

この記念すべき年にあたり、伊勢志摩国立公園のかけがえのない自然の美しさを地域の人々が共に守り、より良い形で次世代に引き継ぐため、さまざまな記念イベントや取り組みを進めています。

1. 次世代につなぐために

小学生・大学生を対象に、「今だからこそできる経験」を通じて伊勢志摩国立公園の魅力を感じ、探求し、その価値を次世代へ伝えることを目指します。

- ① ふるさと教育ツールの開発・展開
- ② (仮)「ふるさと探求！国立公園教室」の実施に向けた準備

① ふるさと教育ツールの開発・展開

小学生向けに伊勢志摩国立公園の自然や歴史・文化を学べる「ふるさと教育ツール」を開発し、次年度に届けることで、公園内で暮らすことの価値を伝え広めていきます。(皇學館大学 CLL 活動)

② (仮)「ふるさと探求！国立公園教室」の実施に向けた準備

次年度に向けて、小学生向けの(仮)「ふるさと探求！国立公園教室」の計画を立てるため、3市1町*の教育機関や関係者と調整を進めます。

※3市1町…伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町

2. エコツーリズムの理解促進と磨き上げのために

エコツアーへの参加機会を設けて理解を深めるとともに、伊勢志摩の自然・歴史・文化の魅力伝える映像を制作し、質の高いエコツーリズムの定着を目指します。

- ① 親子体験イベント
- ② 映像制作

① 親子体験イベント

3市1町の小・中学生と保護者を対象に、カヤックなどの自然体験を通して環境意識を育みます。あわせて参加事業者にはリスクマネジメント等の学習機会を提供します。



カヤック体験

3. 環境への取り組みを広げるために

伊勢志摩国立公園で行われている調理残渣の資源化や海岸清掃など、宿泊施設による「海の環境に優しい取り組み」を現地取材し発信することで、その活動を広げていくことを目指します。(皇學館大学 CLL 活動)

4. 機運醸成のために

指定80周年を来年に控え、機運醸成を図ることを目的として、伊勢志摩の魅力や記念事業について広く発信します。

- ① 帆船「日本丸」の誘致
- ② PR大使の任命
- ③ Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園イベント拡大版の実施
- ④ 広報媒体(記念ロゴマーク、ポスター、パンフレット・ランディングページ)の制作

① 帆船「日本丸」の誘致

管理する海技教育機構(横浜市)と誘致実現に向けて調整を進めています。子供たちに「日本丸」への体験乗船を実施し、普段目に触れることのない船を見学する機会を設けるとともに、自然環境への関心を高めます。



独立行政法人 海技教育機構

② PR大使の任命

鳥羽水族館のラッコ「メイ」をPR大使に任命し、幅広い年齢層に向けて、事業への関心と理解促進を図ります。



伊勢志摩の自然と文化を伝える情報発信の拠点

横山ビジターセンターってこんなところ！

伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会は、伊勢志摩国立公園・横山園地や横山ビジターセンターの管理運営業務をはじめ、横山集団施設地区（横山展望台などの環境省が所管する施設のこと）の管理、自然観察会の開催など、さまざまな事業を実施しています。

横山ビジターセンターは伊勢志摩国立公園を紹介する施設であり、伊勢志摩国立公園の魅力を地域や国内外の皆さんに広く知っていただき、自然観察会などを通して伊勢志摩国立公園への愛着を深めるとも

に、この恵まれた環境を守り伝えていくための次世代の担い手を育てていくのも責務だと考えています。

それには、まず協議会職員が伊勢志摩国立公園の1ファンとしてこの地を知って愛着を持ち、それを皆さんに伝え続けることこそが大切だと考えています。80周年はまだまだその通過点であり、90、100周年に向けて伊勢志摩国立公園は、今以上に素晴らしいナショナルパークの名に恥じない国立公園として成長を遂げられるよう努力をしていきます。

伊勢志摩国立公園 自然ふれあい推進協議会
事務局長 伊藤 芳正さん



伊藤さん



タイドプールの観察会

“Happy Birthday！伊勢志摩国立公園”イベント

伊勢志摩国立公園の誕生日を地域の皆さんとお祝いし、伊勢志摩国立公園に親しみ、将来について考える記念イベント「Happy Birthday！伊勢志摩国立公園」を開催します！

記念講演・石原円吉賞表彰式

- 日時** 令和7年11月20日(木)
13:00～ 記念講演
- 会場** 鳥羽マリンターミナル 2F 交流ラウンジ
- 講師** 立教大学大学院 観光学研究科
観光学専攻 博士前期課程 2年
齋藤 進駒さん
- 演題** 「観光地としての伊勢志摩国立公園～指定80周年によせて～」
14:00～ 石原円吉賞表彰式



齋藤 進駒さん

クラフト体験教室のご案内

「松ぼっくりを使ったクリスマス飾り」

- 日時** 令和7年11月23日(日)10:00～12:00、13:00～15:00
- 会場** 鳥羽マリンターミナル 1F 鳥羽ビジターセンター
- 講師** 上村 光さん (造形教室講師)
- 定員** 午前 10名、午後 10名 (先着) 要予約
- 参加費** 無料(ただし交通費、駐車場料金は参加者負担)

上記クラフト体験教室の参加申し込み方法

下記内容をご記入の上、伊勢志摩国立公園協会事務局まで FAX かメールで送信してください。

- ① 参加希望日時 ② 代表者氏名(フリガナ)
③ 代表者の住所・電話番号 ④ 参加人数

申し込み先 伊勢志摩国立公園協会
FAX 0599-25-2358 ✉ ise-shima@ise-shima.or.jp

第8回「石原円吉賞」の候補者を募集！

1 受賞候補者

候補者は、本人以外からの推薦により募集します。

●対象

国立公園指定に奔走した石原円吉翁のように、伊勢志摩国立公園の自然や文化を守り続ける取り組み(地域文化の継承や適正な活用の推進、動植物の保全活動など)に携わっている個人や団体。(若干名)

2 応募方法・締切

伊勢志摩国立公園協会のホームページから応募用紙がダウンロードできます。必要事項を記載の上、メールアドレス ise-shima@ise-shima.or.jp に送信してください。

●応募締切：令和7年9月5日(金)

お問い合わせは、伊勢志摩国立公園協会
TEL 0599-25-2358 まで。

3 選考方法

候補者の審査と受賞者の選考は、伊勢志摩国立公園協会が設置する選考委員会により行います。

4 選考結果の発表・表彰式

●発表：11月上旬

●表彰式：令和7年11月20日(木)

鳥羽マリンターミナルにて。



石原円吉 いしはら・えんきち (1877～1973)

三重県英虞郡和具村(現在の志摩市志摩町和具)出身。実業家で国や県の政界でも活躍。水産業発展と海の保全に尽力した。戦前から伊勢志摩の国立公園の指定にも貢献し、戦後、伊勢志摩国立公園協会初代会長に就任。昭和46年海の博物館を開設した。

このチラシに関するお問い合わせ先

(一財)伊勢志摩国立公園協会

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1丁目2383-51
TEL & FAX 0599-25-2358
ホームページ <https://www.ise-shima.or.jp/>
メール ise-shima@ise-shima.or.jp



ホームページ



メール

「伊勢志摩エコツアー」の募集情報は
こちらからご覧ください。